

## 一般質問

# ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、6月11日から12日までの2日間で行われ、12人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。  
掲載は質問順としています。

## 特別扱いの同和事業の 終結はいつか

貝田 義博 議員

答 地域の事情に配慮しながら一般対策へ移す

**問** 同和対策事業を実施してきた法律が終了して12年、なお事業は続いている。同和問題解決を言うなら、特別扱いの事業こそやめるべきでは。

**市長** 差別意識は薄れてきているが、現実にはある。意識の解消に向けた事業を実施している。

**人権・同和対策室長** 地区の住環境は改善されてきた。全国的には差別事象が後を絶たず、差別意識の解消が大きな課題。

**問** 本市でも人権侵害事件が発生しているのか。

**人権・同和対策室長** 市内で、表面化している事象はない。

## 児童・生徒支援 加配教員の 配置基準はどうか

**問** 同和教育推進教員と

現在の児童・生徒支援加配教員の位置づけは違うはずだが、配置は教育困難校を対象にすべきでは。

**学校教育課長** 関係法律の終了で、同和教育推進教員制度は廃止。新たに現在の制度が設けられた。きめ細やかな指導が必要な学校に配置している。

**問** 市教委が県教委へ提出している配置要望書に同和団体も名を連ねているが、問題では。

**教育長** 同和教育推進教員を要望してきた経過がある。現在は指導、工夫、改善などの加配も要求している。



人権パンフレット